

JNSA 教育部会・JNSA ゲーム教育プロジェクト

JNSA 教育部会 ゲーム教育 WG (旧講師スキル WG)
 (ゲーム教育プロジェクト)
 リーダー 長谷川 長一

■ 当プロジェクトの概要

このプロジェクトは、JNSA教育部会とU40部会の共同プロジェクトとして昨年誕生しました。当プロジェクトでは、ゲームを活用した情報セキュリティの普及啓発、実践的セキュリティ教育の調査・研究、企画等の活動をしています。対象となる領域としては、ITの知識をほとんど持っていないリテラシー的な層と、ある程度の知識を持っている中核的専門人材層に分けられます。前者は情報セキュリティの普及啓発、後者は情報セキュリティ知識・技術の実践的な教育となります。

これらの層に対し、ゲームを活用した振り返り教育とそれができるファシリテーターの育成を検討しています。そのために、大学等の高等教育機関で実証実験教育という形でゲーム教育を実施し、その効果を検証しています。併せて、ゲームを活用した振り返り教育の普及・促進を図るため、イベントの企画・実施を計画しています。

■ 当プロジェクトで企画・制作したゲーム

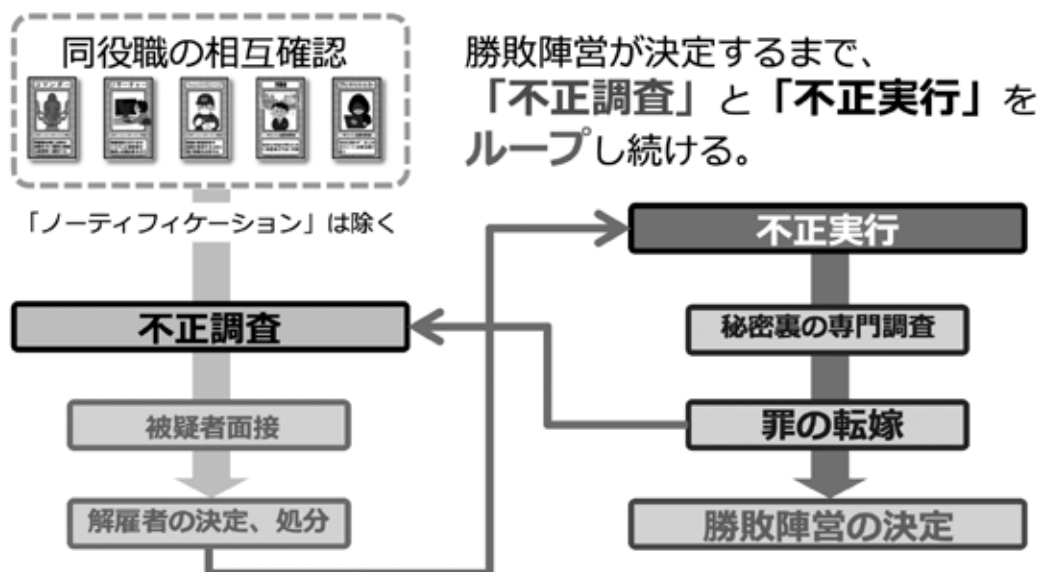
さらには、JNSAとしてゲームを企画・制作しましたので、紹介させていただきます。

1. 「セキュリティ専門家 人狼ゲーム」 (略称:セキュ狼)

セキュリティ専門家 人狼ゲームとは、参加者は役割に応じて、セキュリティ専門家陣営とサイバー犯罪者陣営に分かれます。分析のターン(話し合い)と取り締まりのターン(役職の能力発揮)を繰り返して、自分の陣営を勝利に導くのが目的のゲームです。

去る1月23日(月)の「Network Security Forum 2017」では、セキュ狼のお披露目を行い、聴講者の皆様にプレゼント、7人の方に参加いただき、デモプレイを行いました。また、1月29日(日)には、「SECCON 決勝大会」での展示と、ゲーム体験会とプレゼントを行いました。体験会は多めに盛り上がり、プレゼントとして用意したセキュ狼が昼過ぎになくなるという事態に…。(急遽、追加でプレゼントをご用意しました)

「セキュリティ専門家 人狼ゲーム」のゲームフロー





「セキュリティ専門家 人狼ゲーム」Twitterアカウント (@Sec_JINROH) も開設しました。ハッシュタグは、「#セキュ狼」です。

2. 「Containment (封じ込め)」：制作中、来年度Q1リリース予定。

このゲームは、外部からの通報を受け、PC端末を調査し、マルウェアに感染した端末を特定、「封じ込める」までの初動対応をイメージしたゲームです。社内環境にマルウェアが仕込まれており、自身のターンで、各役職に応じた能力に応じて、PC 端末を調査し、感染した端末を隔離します。プレイヤーは、各部署への移動や役職固有の能力を駆使し、8枚の端末カードの中から2枚の遠隔捜査カードを発見し、封じ込めることができれば勝利となります。ゲーム中は会話が制限され基本的に同じ部署にいるメンバー間でしか、情報交換できないルー

ルで、自らの役割と能力を理解し迅速に情報連携する事が勝利の鍵となります。



企業において情報セキュリティを実践的できる人材が求められている現在、実践的セキュリティ教育が必要とされています。そのためには、様々な体験学習が効果的かつ不可欠です。その中でもゲーム学習は、安全にチャレンジし、失敗することができる、そして短い時間で体験学習ができる教材です。情報セキュリティの教育は、一般の人にとっては我々が思う以上にハードル高いものです。その敷居を下げる工夫の1つがゲーム学習であると考えています。

ぜひ、皆様も、まずはゲーム教育を体験してみてください。そして、今後も我々の活動にご注目ください。

JNSA ソリューションガイド活用 WG

株式会社アズジェント
WGリーダー 秋山 貴彦

■ はじめに

JNSAソリューションガイド活用WGでは、JNSAソリューションガイド (Webサイト) を活用し、年間の活動を通じて会員企業自身のPRとその企業が有しているソリューションの情報を多くの方々に届けるための企画をこれまで推進してきました。

今回は、最新活動状況とこれまで特集検索ページに公開された内容について簡単にご紹介させていただきます。

■ 最新活動

2017年1月にIPA (独立行政法人情報処理推進機構) より『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン』が公開されました。本ガイドラインを利用しながら情報セキュリティ対策を進めていく中小企業の担当者が、実際に製品・サービスの導入を検討する際に参考となる製

品・サービスの検索ページとしてJNSAソリューションガイドを利用できないか?という打診をIPAより受け、2016年11月より、具体的な検討を開始しました。公開までの流れとWG活動内容は、下段の図となります。

■ 特集検索ページのご紹介

特集検索ページでは、標的型対策やマイナンバーといった関心が高いセキュリティ対策をテーマとしたページをこれまで公開して参りましたので、ご紹介させていただきます。

【公開されている特集ページ】

- IPA「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」対応 製品・サービス検索を公開
- マイナンバー技術的対応製品・サービス検索
- 中小企業向けこれだけはやっておくべきITセキュリティ対策
- 今、企業がすべき標的型メール攻撃対策

【公開までの流れ】



公開までの流れ	WG 活動内容
1. 目標設定	本ガイドラインと連動した検索ページの作成を目標として WG メンバーを招集
2. 検討	ガイドラインの理解を深める
	JNSA ソリューションガイドとの連動のさせかたの検討
	掲載内容の検討
3. 構成・作成	Web 構成検討
	Web 構成決め
	Web 作成
4. チェック	作成された Web の内容をチェック
5. Web の公開	公開されたことの確認



中小企業が関心の高いセキュリティ対策に関する特集を行うことにより、会員企業が有しているソリューションを紹介する機会を増やすと同時に、IT担当者が具体的な対策を行なうにあたって、どのようなソリューションがあるかを見つける場所としてソリューションガイドを利用して頂ければと考えております。

■ 今後の活動について

今後もJNSAソリューションガイド内のコンテンツを拡充していくとともに、今年は、ソリューションガイドへの訪問者数を増やすために必要な課題の洗出し、その課題に対する改善計画を立てていきたいと考えていますので、ご興味をもって頂いた方は、ぜひ、WGメンバーとして参加をお願いします。

最後に、WGメンバー、事務局の皆様には、いつもご協力頂きありがとうございます。この場をお借りして、お礼をさせて頂くとともに今後ともよろしく申し上げます。

■ WGメンバーリスト（社名昇順）

氏名	所属
秋山 貴彦	(株) アズジェント
菅野 泰彦	アルプス システム インテグレーション (株)
松田 剛	(株) インテリジェントウェイブ
堺 寛	NTTソフトウェア (株)
小屋 晋吾	トレンドマイクロ (株)
萩原 健太	トレンドマイクロ (株)
扇 健一	(株)日立ソリューションズ
山田 隆志	ユニアデックス (株)
清水 哲也	ユニアデックス (株)